

■台湾：海洋エネルギー開発を推進

国家科学委員会（NSC：National Science Council）は2011年6月13日、潮流発電や海底天然ガス田、メタンハイドレード、洋上風力発電などの開発を推進すると発表した。潮流発電については、KP3計画（Kuroshio Pilot Power Plant Development Plan）として、太平洋沖の緑島に黒潮を利用したパイロット発電設備を建設中である。海底天然ガス田の開発については、海洋科学研究センター（OSTRC：Ocean Science and Technology Research Center）が西南海域で探査を行っており、澎湖島以南、高雄市・屏東県以西の24カイリの領海内に5,000億～2兆3,000億立方メートルの天然ガスが埋蔵されている可能性が高く、2015年までに埋蔵量を確定して2025年以降に採掘を始めるとしている。